

【禁忌・禁止】

【使用方法】

- ① 本品の取付けは、本品を確実に奥まで挿入し、固定されていることを確認すること。[器具の破損や脱落につながるおそれがある。]
- ② 本品の加工・改造は行わないこと。[器具の破損や不適切な設置による術後成績不良が発生するおそれがある。]
- ③ 変形や破損した場合は使用しないこと。[器具の破損や不適切な設置による術後成績不良が発生するおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

トゥースプレーニングバー：

- 1 S, 1 L, 2 S, 2 L, 3 S, 3 L
4 S, 5 S, 5 L, 5 LL
1 0 L, 1 1 S

【使用目的又は効果】

【使用目的】

歯肉縁下のプラークや歯石を除去するために使用する。

【効果】

エアータービンの高速回転と極めて微細な芯ブレによる振動（10～15μm）により超音波に似た効果が得られ、歯肉縁下の歯面に強固に付着したプラークや歯石等の沈着物や歯垢を破砕・除去し、歯肉の炎症をくい止め口腔内の衛生化をはかり、歯周病、歯槽膿漏の予防又は進行を防止すると同時に歯面を潤沢に仕上げることができるため、プラーク等の再付着を防止できる。

【使用方法等】

【使用方法】

エアータービンに装着し高速回転させた本品を、歯の表面に当て、付着したプラークや歯石をはがしとる。

【使用上の注意】

【使用注意】

- ① 器具の正しい使用のため、添付文書の注意・指示事項に従う事。
- ② 器具の形態変更や改造等はしない事。
- ③ 本品は、歯科医療有資格者以外は使用しない事。
- ④ 歯科治療以外の目的で使用しない事。また、折損・曲がり等の原因になり得るので使用時に必要以上の力を加えない事。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- ① 本品は未滅菌のため、使用前に必ず洗浄・滅菌を行う事。
- ② 本品は必ず使用前に傷・バリ等がないよう確認する事。口腔内を傷つける可能性がある場合には新しい物と交換する事。
- ③ 本品は必ず使用前にガタつきや緩み等がないよう確認する事。使用に適さない場合には新しい物と交換する事。
- ④ 沈着物除去能力の低下した物や使用に適さない物は新品と交換する事。
- ⑤ 本品は高速回転器具ですので使用の際には周辺の粘膜等に十分配慮する事。
- ⑥ 器具の脱落は誤飲等の重大事故に繋がる危険性が高いため十分に確認作業を行い注意して使う事。
- ⑦ 本品はプラークや歯石等の除去用バーのため、他の目的には使用しない事。
- ⑧ 周辺粘膜等に注意する事。
- ⑨ エアータービン等への装着は確実に行う事。
- ⑩ 必ず注水下にて使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- ① 本品はステンレス製ですが、湿度の高い場所に長時間放置すると錆びが発生し治療時に汚染を引き起こす恐れがあるため、湿度が低く、清潔な場所に保管する事。
- ② 消毒用薬液、洗浄剤の濃度・浸せき時間・温度等の使用法は、各メーカーの指示に従い正しく使用する事。消毒用薬液としては次のものを推奨する。
グルタラル製剤（ハイドリッド等）、グルコン酸クロロヘキシジン（ヒピテン等）、界面活性剤系薬液（塩化ベンゼトニウム液、塩化ベンザルコニウム液、両性界面活性剤等を含む薬液）は使用できませんが、これらの薬剤を含んでいても防錆効果を謳っている物は使用可能です。
- ③ 次の成分を含む消毒用薬液は、錆への影響が高いため使用しない事。
塩素系薬液（次亜塩素酸ナトリウム等）、過酸化水素系薬液（オキシドール等）、強酸性水、及び防錆効果のない界面活性剤系薬液（塩化ベンゼトニウム液、塩化ベンザルコニウム液、両性界面活性剤等）。

【保守・点検に係る事項】

- ① 錆びる恐れがあるため水分が付着したまま保管しない事。
- ② 金属たわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面が損傷するので汚物除去及び洗浄時に使用しない事。
- ③ 滅菌済みの物を保管するにあたっては、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管するとともに、有効期間の管理をする事。
- ④ 本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する事。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売元
株式会社デンテック
〒174-0053 東京都板橋区清水町53番5号
TEL：03-3964-2011
FAX：03-3962-5624
2. 販売元
株式会社東京歯材社
〒110-0001 東京都台東区谷中2-5-20
TEL：03-3823-7501
FAX：03-3823-7516